

会津若松市の財務書類4表【普通会計】

【概要版】平成26年度決算

会津若松市では、市民の皆様にも、市の財政状況をより理解していただくために平成20年度決算から「新地方公会計制度」に基づく財務書類を作成・公表しています。平成26年度決算における普通会計の財務書類は次のとおりです。

貸借対照表

貸借対照表は市の資産と、その資産をどのような財源（負債、純資産）で賄ってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に『資産』を表示し、右側に『負債』及び資産と負債の差額である『純資産』を計上しています。

借方	貸方
【資産】 公共資産 道路、学校、公園、市庁舎等 1,632億9,809万円	【負債】 固定負債 流動負債 負債合計 497億2,822万円 61億2,389万円 558億5,212万円
【投資等】 基金(固定的なもの)、出資金など 81億3,318万円	【純資産】 純資産合計 1,212億4,828万円
【流動資産】 現金・未収金 (うち蔵計現金)12億1,751万円 56億6,912万円	負債・純資産合計 1,771億39万円
資産合計 1,771億39万円	

市民一人あたりの貸借対照表 人口122,764人 (H27.3.31)

借方	貸方
【資産】 ①公共資産 ②投資等 ③流動資産 133万円 7万円 5万円	【負債】 46万円 99万円
資産合計 144万円	負債・純資産合計 144万円

資金収支計算書

資金収支計算書とは、1年間の現金の流れを表したものです。

期首資金残高…A	17億9,018万円
当期収支(①+②+③)…B	△5億7,267万円
①経常的収支	61億6,037万円
②公共資産整備収支	2億5,889万円
③投資・財務的収支	△69億9,193万円
期末資金残高(A+B)	12億1,751万円

純資産変動計算書

純資産変動計算書とは、純資産（貸借対照表の資産から負債を引いた残り）の1年間の変動を表したものです。

期首純資産残高…A	1,208億5,318万円
純経常行政コスト…B	△406億7,994万円
財源調達(①+②+③+④)…C	409億652万円
①地方税	153億8,694万円
②地方交付税	115億4,967万円
③その他の財源	26億6,297万円
④補助金等	113億695万円
その他の変動額…D	1億8,852万円
期末純資産残高 A+B+C+D	1,212億4,828万円

行政コスト計算書

行政コスト計算書とは、貸借対照表に出てこない（資産の形成につながらない）人的サービスや社会保障給付サービスなどに使った1年間の費用を集計したものです。

経常費用(①+②+③+④)…A	420億7,340万円
①人にかかるコスト (人件費、退職手当引当金等)	74億8,725万円
②物にかかるコスト (物件費、減価償却費等)	116億5,847万円
③移転支出的なコスト (社会保障給付算等)	222億4,525万円
④その他のコスト (公債費など)	6億8,243万円
経常収益…B (使用料・手数料等)	13億9,346万円
純経常行政コスト (経常費用-経常収益)A-B	406億7,994万円

市民一人あたりでは…	34万円
	6万円
	9万円
	18万円
	1万円
	1万円
	33万円

普通会計財務書類4表からわかる比率

- 貸借対照表より社会資本形成の世代間比率
(公共資産が現役世代か将来世代かどちらの負担で形成されたか)
過去及び現役世代の負担率(純資産/公共資産) 74%
将来世代の負担率(地方債+未払金)/(公共資産) 29%

